

自由に参加できます！

第 23 回明大昆虫セミナー

ミナミアオカメムシの近年の分布および発生状況

水谷 信夫 氏

(九州沖縄農業研究センター)

日時：2013 年 12 月 18 日（木）16:20～18:00 頃

会場：明治大学生田キャンパス中央校舎（教室は未定）

ミナミアオカメムシは、半世紀ほど前に九州南部で発生が確認され、早期
水稲栽培の普及とともに分布を拡大し、宮崎県を中心に大きな被害をもたら
しました。当初は温暖な地域に限定されていた分布は、2000 年頃から北へ
と拡大を続けており、近年では九州北部や東海地方の水稲やダイズで被害が
深刻化し、関西地方や房総半島でも生息が確認されています。

今回の講演では、2011 年に行ったアンケート調査から明らかになった、
ミナミアオカメムシの我が国における発生状況と、熊本県における寄主植物
上での発生消長や主要な生息地での分布状況について紹介して頂くとともに
に、これらの調査から考察した『ダイズでの多発生のメカニズム』を解説し
て頂きます。また、本種を含むカメムシ類の集合フェロモンの機能に関する
研究事例も紹介して頂く予定です。是非、奮ってご参加下さい。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享

(5 号館 208、内線 7810)